

が ん の 死 亡 状 況

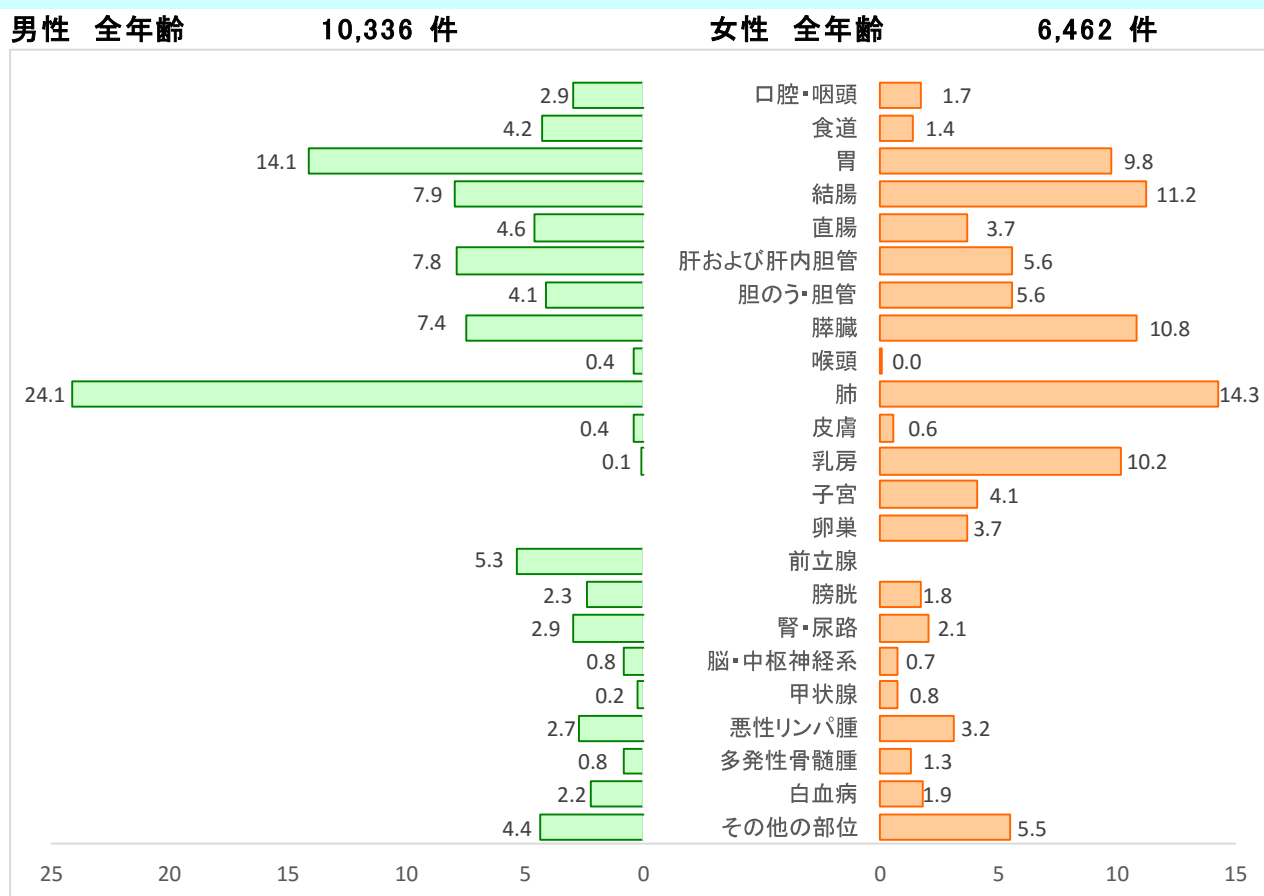
死亡の概要

2016年に千葉県において、男性10,336人、女性6,462人、総数16,798人の方が、がんを原因として死亡された。部位内訳においては、男性では、肺がんが最も多く、胃、結腸、肝および肝内胆管、膵臓と続く。罹患部位として比較的多かった前立腺は（図10）、死因としてはそれほど多くはないことがわかる。女性では、罹患部位で乳房が最も

多くを占めたが（図1）、死因としては、肺がんが最も多く、結腸、膵臓、乳房、胃と続く。

肺において、男女とも罹患割合と比較し死亡割合が大きい。これは肺の診断時病期の遠隔転移割合が大きいことと関連があると推察される。

図10 部位内訳（%）（表9から作成）

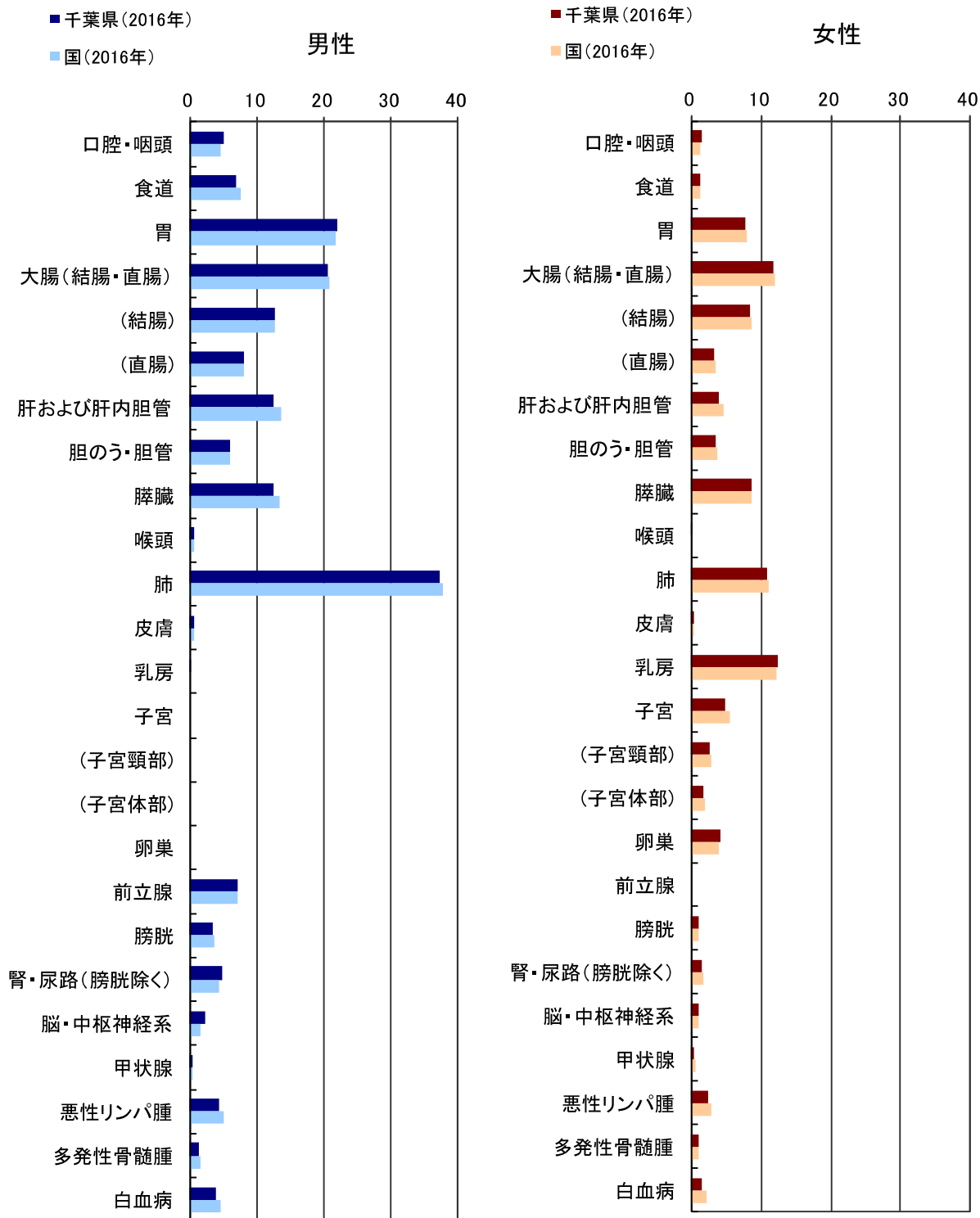


千葉県のがんの死亡の特徴

千葉県の年齢調整死亡率は、全国と比較すると、男女とも各部位においてほぼ同等

であるが、男性の肝および肝内胆管、膵臓においてはやや低い傾向がある。

図 11 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対 (表 9 から作成)



※ 国の値は、公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計' 17」(4 部位別年齢階級別死亡率 (2016 年))より引用。

年齢別に見たがんの死亡

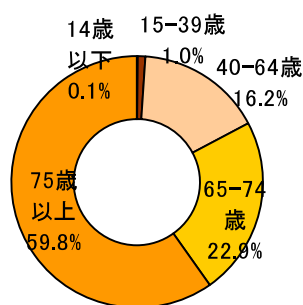
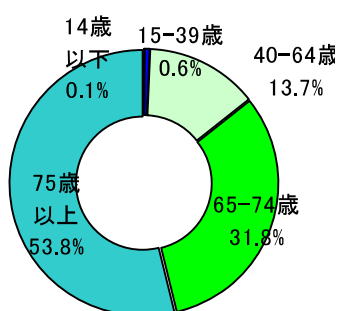
2016年にがんで死亡された方の年齢内訳は、男女ともに約8割を65歳以上が占めている。また、40-64歳の年齢層も、男女ともに15%近くを占めている（図12）。

年齢階級別死亡率は、15-39歳の若年層

を見ると、女性の乳房、子宮がんで高く、30歳以降で死亡率が増加し始める。肺がんや胃がんでは比較的若年の55歳以上から、前立腺がんは比較的高齢の70歳以上から死亡率が増加している（図13）。

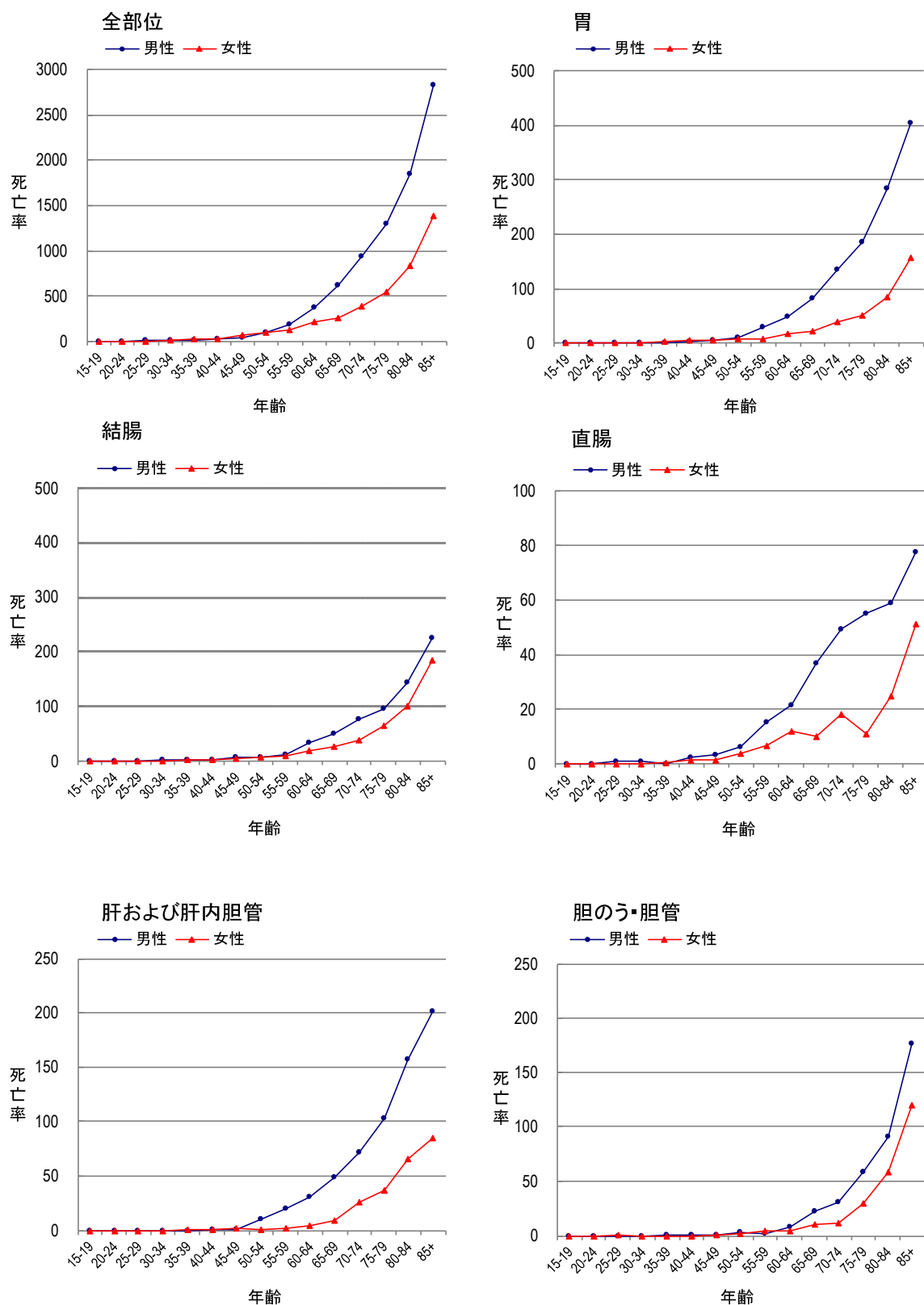
図12 年齢内訳（%）（表10から作成）

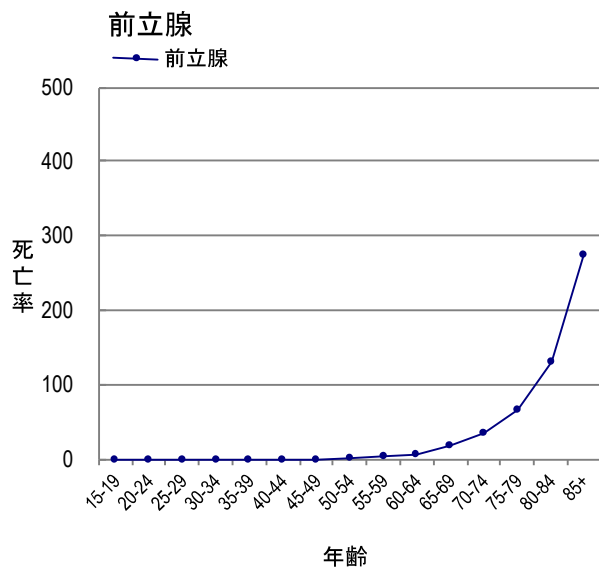
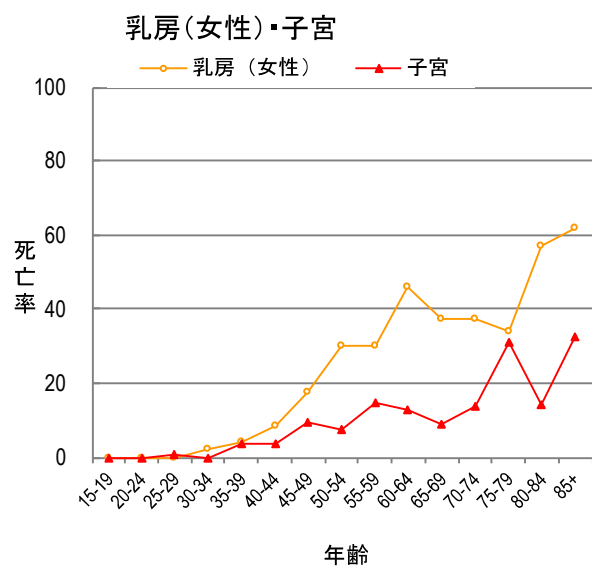
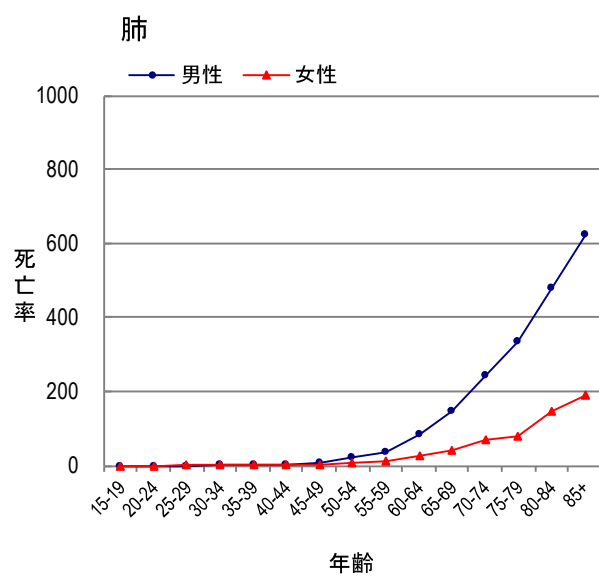
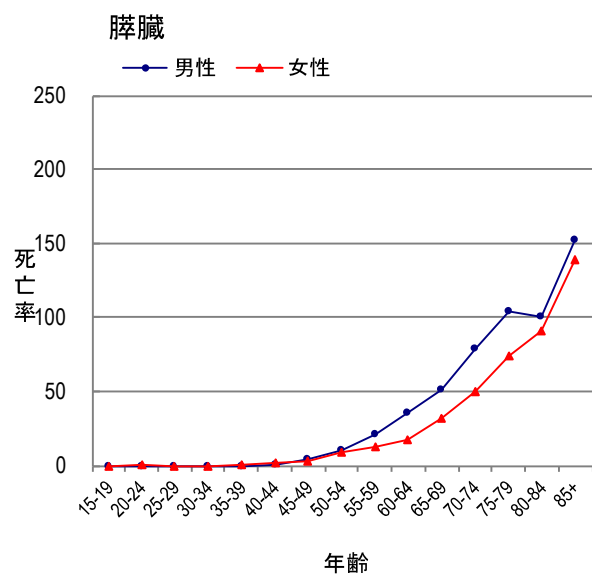
	男性
14歳以下	9
15-39歳	61
40-64歳	1,412
65-74歳	3,290
75歳以上	5,564
合計	10,336



女性	
6	14歳以下
65	15-39歳
1,044	40-64歳
1,481	65-74歳
3,866	75歳以上
6,462	合計

図 13 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 （表 11-2 から作成）





地域別に見たがんの死亡

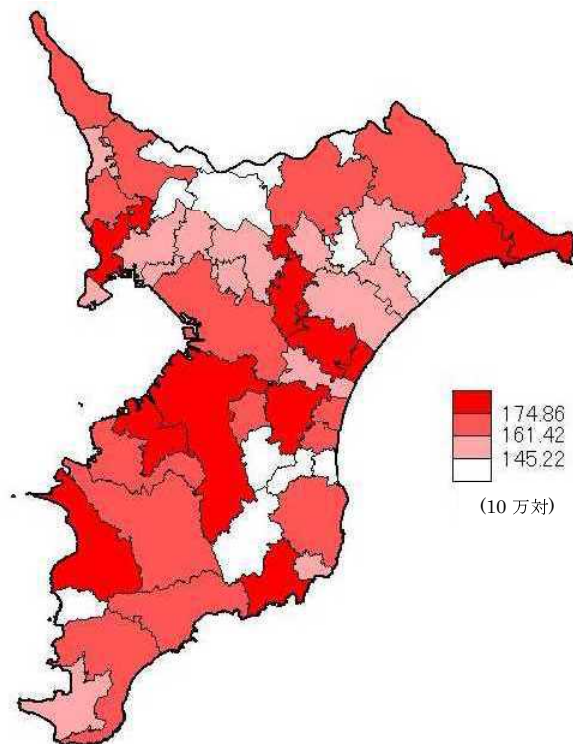
2016 年の千葉県内の各市町村におけるがんの年齢調整死亡率の分布を示す(図 14)。なお、階級区分は、全 54 市町村の年齢調整

死亡率(人口 10 万対)における四分位数(小さい順に並べ 4 等分する位置にくる 3 つの区切りの値)を利用している。

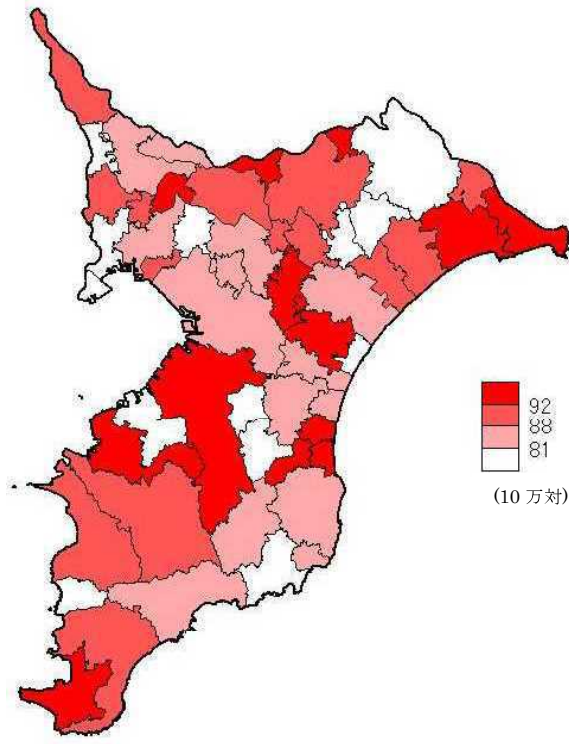
図 14 年齢内訳(%) (人口動態統計から作成)

【全部位】

男性

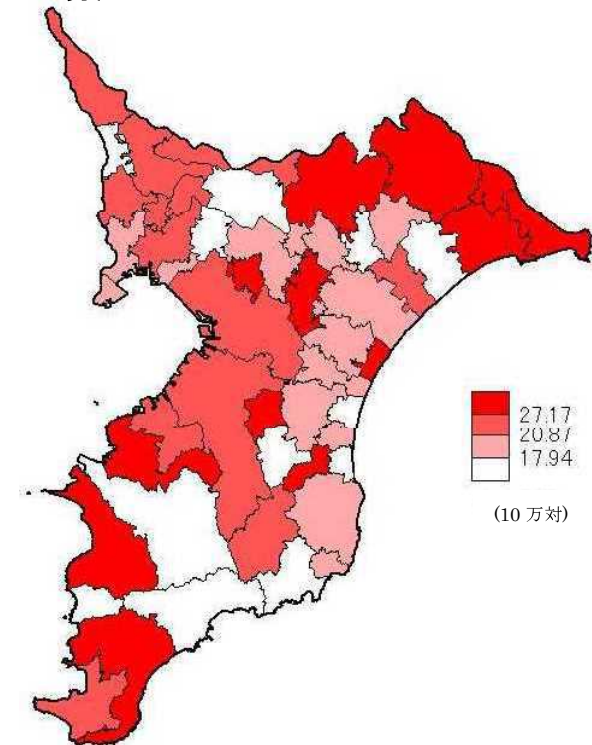


女性

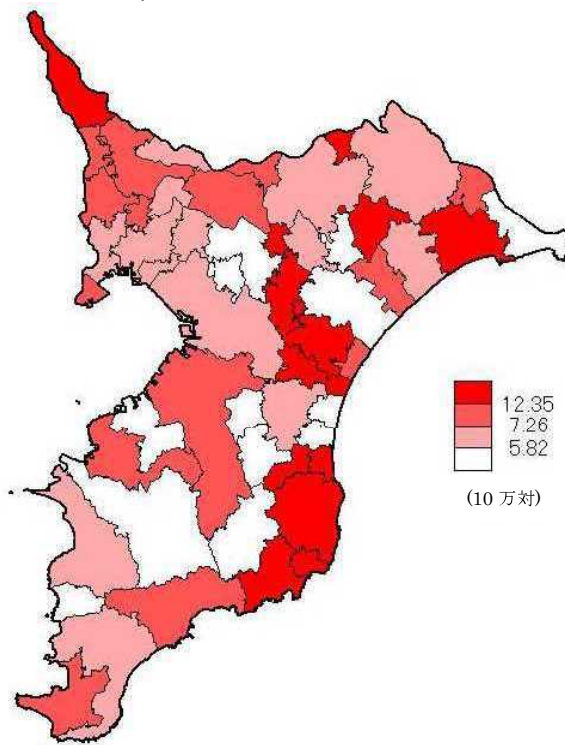


【胃】

男性

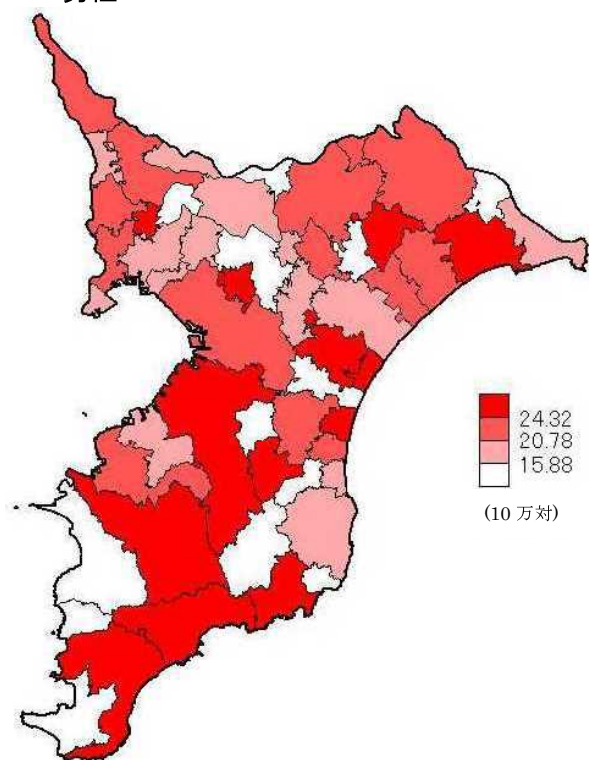


女性

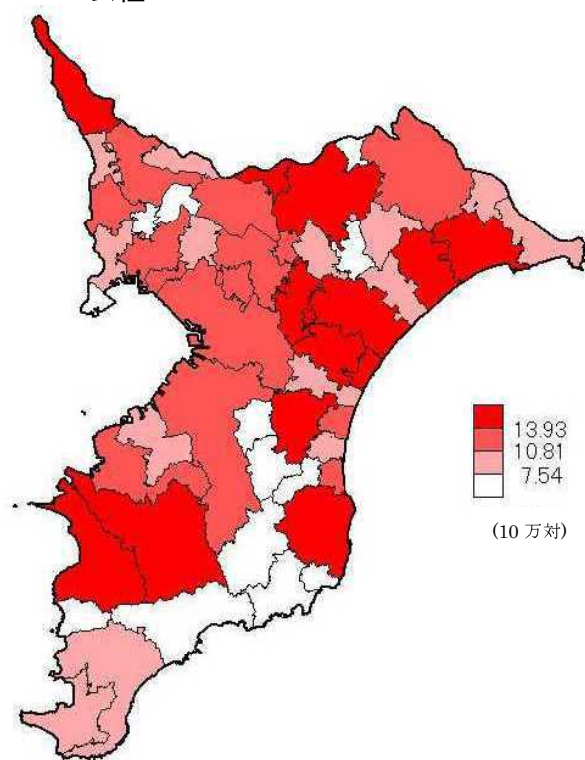


【大腸(結腸・直腸)】

男性

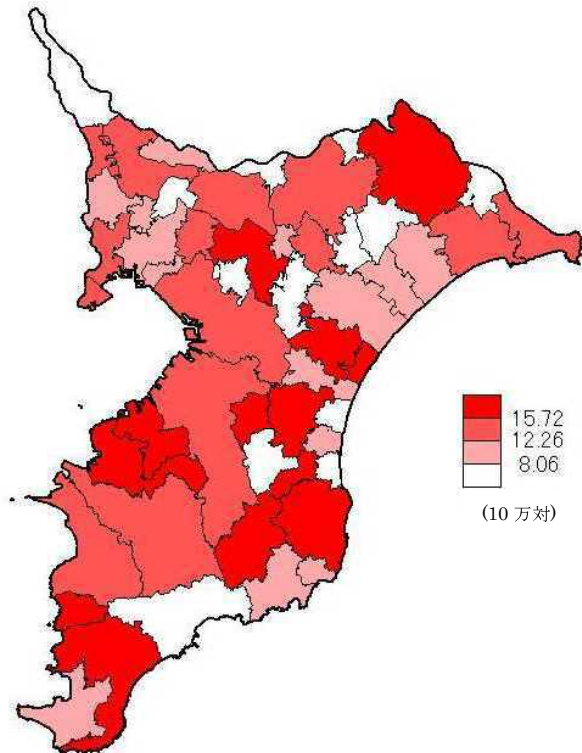


女性

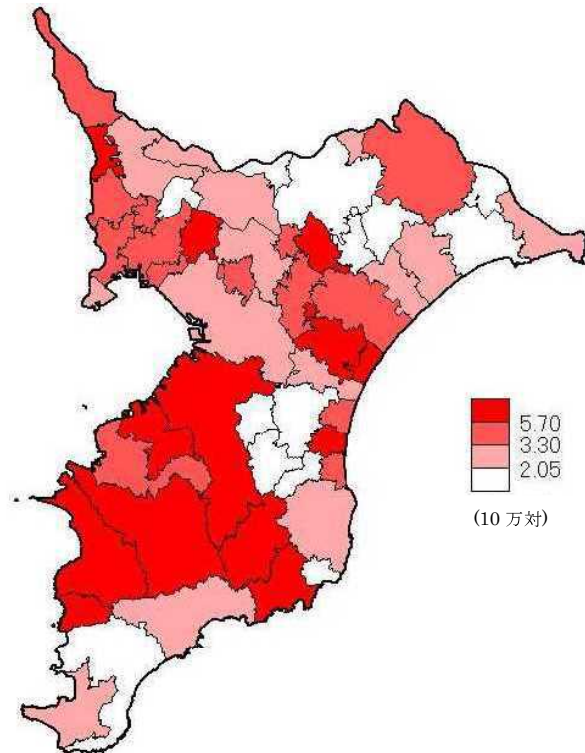


【肝および肝内胆管】

男性

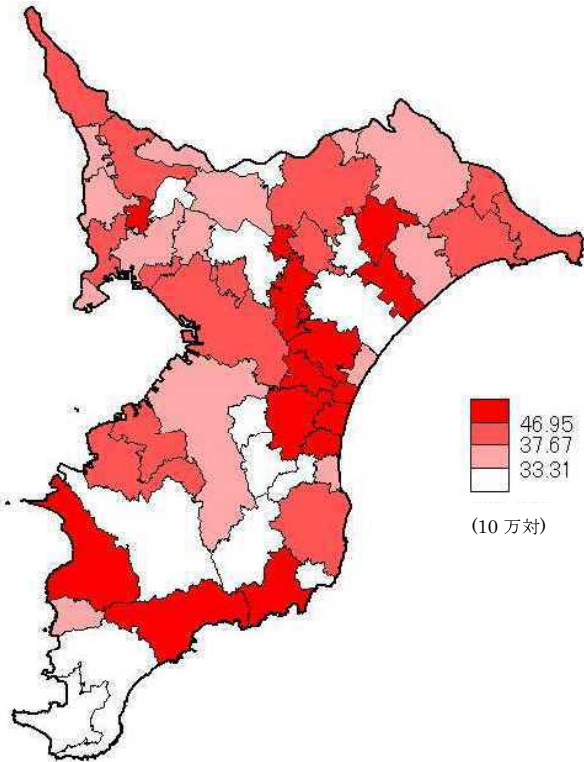


女性

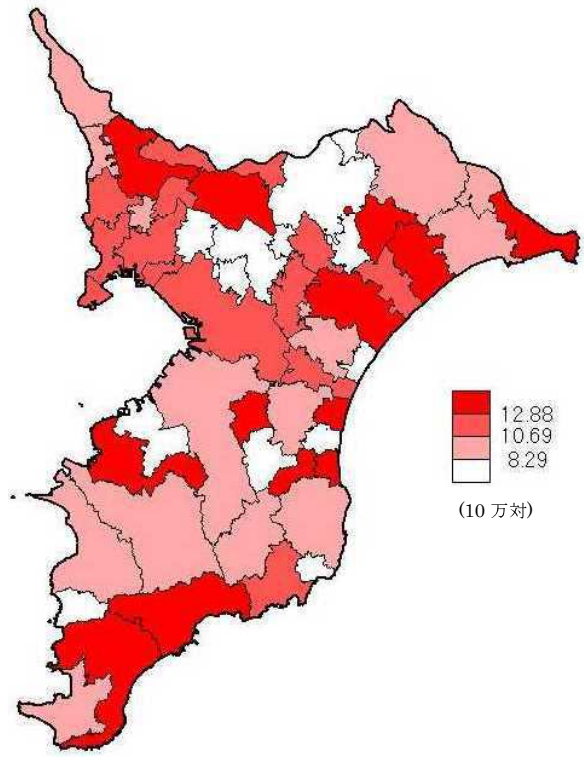


【肺】

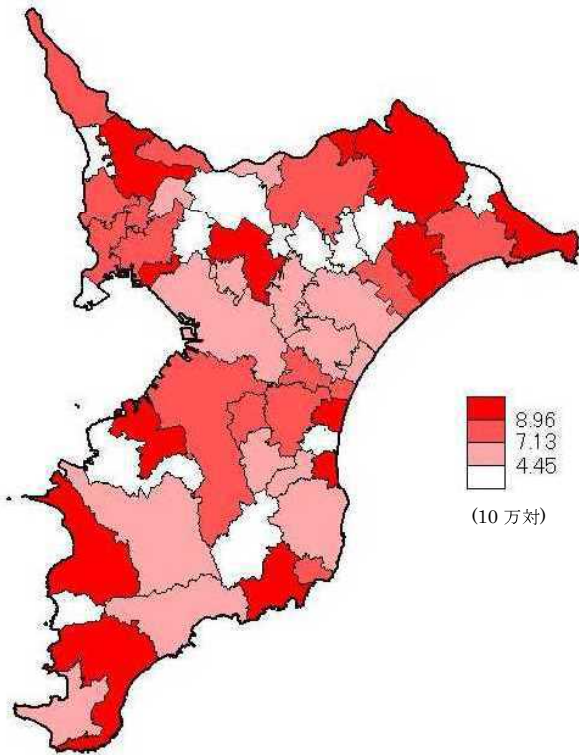
男性



女性



【前立腺】



【乳房(女性)】

